

## 保育所自己評価票

## A-1 保育所保育の基本

## A-1(1) 養護と教育の一体的展開

A-1(1)-① 保育所の保育方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	保育課程が、保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、家庭及び地域の実態に即してよく編成されている。	A
B	保育課程が、保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、家庭及び地域の実態に即してよく編成されているが、改善が必要である。	
C	保育課程が、保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、家庭及び地域の実態に即して編成されていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達過程の記録を基に、保育課程の編成を行っている。</li> <li>・よく理解できていない部分もあるので、保育士同士での話し合いがもっと必要だと思う。</li> <li>・保育の方針や目標に基づいて保育は行われているが、見直しを充分に行い、改善していく。</li> </ul>		

A-1(1)-② 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	適切な環境が整備され、保育の内容や方法が十分配慮されている。	B
B	適切な環境が整備され、保育の内容や方法が十分配慮されているが、改善が必要である。	
C	適切な環境が整備され、保育の内容や方法が十分配慮されていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は乳児が少なかったため、ゆったりと個々に関わり、発達に合わせた保育が行えた。</li> <li>・隣のクラスの音が気になった。</li> <li>・冬場の結露が不衛生なため、改善を要する。</li> </ul>		

A-1(1)-③ 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	適切な環境が整備され、保育の内容や方法が十分配慮されている。	B
B	適切な環境が整備され、保育の内容や方法が十分配慮されているが、改善が必要である。	
C	適切な環境が整備され、保育の内容や方法が十分配慮されていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育的な面をもっと取り入れていくと良い。</li> <li>・2歳児のクラスの部屋の環境が良くないので改善を要する。</li> </ul>		

A-1(1)-④ 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	適切な環境が整備され、保育の内容や方法が十分配慮されている。	A
B	適切な環境が整備され、保育の内容や方法が十分配慮されているが、改善が必要である。	
C	適切な環境が整備され、保育の内容や方法が十分配慮されていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の内容をそれぞれの保育者で考えて、配慮された保育を行っている。</li> <li>・年齢に合わせた遊びや玩具の使い方をさらに工夫していく。</li> <li>・いろいろな経験が出来るよう、環境を整えている。</li> </ul>		

A-1(1)-⑤ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかわりに十分配慮されている。	A
B	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかわりに十分配慮されているが、改善が必要である。	
C	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかわりに十分配慮されていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学に向けて子どもひとりひとり、見通しを持って保育の内容が考えられている。</li> <li>・就学までにどの程度のことが出来ればよいか、基準になるような計画が必要。</li> <li>・保護者の不安感を聞きながら、配慮できている。</li> </ul>		

**A-1-(2) 環境を通して行う保育**

**A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境を整備している。**

判断基準		評価 (A・B・C)
A	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が十分整備されている。	A
B	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が十分整備されているが、改善が必要である。	
C	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が十分整備されていない。	
<ul style="list-style-type: none"><li>・季節に応じた園外活動もあり、十分だと感じる。</li><li>・部屋の中の物の配置など、様々な改善を行うことでより良い環境づくりが出来ている。</li></ul>		

**A-1-(2)-② 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。**

判断基準		評価 (A・B・C)
A	基本的な生活習慣を身につけ、身体的な活動ができるよう環境が十分整備されている。	A
B	基本的な生活習慣を身につけ、身体的な活動ができるよう環境が十分整備されているが、改善が必要である。	
C	基本的な生活習慣を身につけ、身体的な活動ができるよう環境が十分整備されていない。	
<ul style="list-style-type: none"><li>・保育の中で基本的な生活習慣が身に付くよう、年齢により環境を工夫している。</li><li>・体を動かせる遊具が多く、それぞれ挑戦している。</li></ul>		

A-1-(2)-③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	子どもが主体的に活動したり、友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が十分整備されている。	A
B	子どもが主体的に活動したり、友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が十分整備されているが、改善が必要である。	
C	子どもが主体的に活動したり、友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が十分整備されていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事が多く、行事に向けた取り組みの中で、友達と協力してできている。</li> <li>・身の回りのことを進んで行えるよう環境を工夫している。</li> <li>・異年齢児との関わりがあり、それぞれが考えて活動できている。</li> </ul>		

A-1-(2)-④ 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような、人的・物的環境が十分整備されている。	B
B	子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような、人的・物的環境がどちらかといえば整備されている。	
C	子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような、人的・物的環境が十分整備されていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に外遊びの機会を設けている。</li> <li>・もっと散歩を行ったり、社会見学などに取り組んでみてよいのかと思う。</li> <li>・お遊戯会やおおぞらまつりを通じて、地域社会と交流を持てるようにしている。</li> </ul>		

A-1-(2)-⑤ 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	豊かな言語環境や様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が十分整備されている。	A
B	豊かな言語環境や様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が十分整備されているが、改善が必要である。	
C	豊かな言語環境や様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が十分整備されていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の手の届くところに絵本を配置し、自由に見る時間をつくり、絵本に親しんでいる。</li> <li>・手遊び、リズム遊びを通じ、表現活動を行っている。また様々な制作を行っている。</li> <li>・行事の中での代表やお当番活動を通じ、人前で話すことを経験できるようにしている。</li> </ul>		

A-1-(3) 職員の資質の向上

A-1-(3)-① 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が十分図られている。	A
B	保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が十分図られていない。	
C	保育士等が主体的に自己評価に取り組んでいない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価に取り組み、保育をより良くしようと取り組んでいる。</li> </ul>		

## A - 2 子どもの生活と発達

### A-2-(1) 生活と発達の連続性

A-2-(1)-① 子どもの一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	子ども一人ひとりを受容した保育内容や保育士の援助が適切に行われている。	A
B	子ども一人ひとりを受容した保育内容や保育士の援助が適切に行われているが改善が必要である。	
C	子ども一人ひとりを受容した保育内容や保育士の援助が行われていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今以上にひとりひとりの発達に合わせた関わり方を行っていく。</li> <li>・担任が個々の変化を伝え、職員間でその日の対応がしっかりと行えている。</li> <li>・月齢や発達を見ながら、ひとりひとりに合わせた援助を行っている。</li> </ul>		

A-2-(1)-② 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に十分な配慮がみられる。	
B	障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に十分な配慮がみられるが改善が必要である。	
C	障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境や保育内容について、配慮されていない。	

A-2-(1)-③ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に十分に配慮されている。	A
B	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に十分に配慮されているが改善が必要である。	
C	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に十分に配慮されていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝、一つのお部屋で子供が過ごし、落ち着かず遊んでいたため、保育士の配置を増やし、2つの部屋に分けて過ごせるようにした。</li> <li>・時間ごとに活動を分け、メリハリが持てる。</li> </ul>		

A-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

A-2-(2)-① 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	子どもの健康管理は、マニュアルや保健計画などで全職員が共通理解し、子ども一人ひとりの健康状態に応じて適切に実施している。	A
B	子ども一人ひとりの健康状態に応じて健康管理を実施しているが、マニュアルや保健計画などはなく改善が必要である。	
C	子ども一人ひとりの健康状態に応じて健康管理を実施していない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の疑いがある子には、保護者に受診をしてもらえるよう促していく。</li> <li>・ひとりひとりの体調を職員全体で把握できており、変化を細かく確認している。</li> <li>・マニュアルをしっかりと理解していく必要がある。</li> </ul>		

A-2-(2)-② 食事を楽しむことができる工夫をしている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	食事を楽しむことができるよう適切な環境設定や工夫をしている。	A
B	食事を楽しむことができるよう適切な環境設定や工夫をしているが、改善が必要である	
C	食事を楽しむことができるよう適切な環境設定や工夫をしていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・クッキングをしたり、クラスで育てた野菜や果物を食べている。</li> <li>・子どもが楽しんで食事できるよう、メニューや見た目、味など食事が工夫されている。</li> <li>・好き嫌いせず、自主的に完食できるような励ましや声掛けをしながら、マナーも伝えている。</li> </ul>		

A-2-(2)-③ 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理が十分工夫されている。	A
B	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理が十分工夫されているが、改善が必要である。	
C	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理が十分工夫されていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児は一人ひとりに合った食事が提供されている。</li> <li>・子どもによって量を減らしたり、栄養士、保護者と相談し、進めている。</li> </ul>		

A-2-(2)-④ 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、必要に応じて保育に十分反映させている。	A
B	健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、必要に応じて保育に十分反映させているが、改善が必要である。	
C	健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、必要に応じて保育に十分反映させていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診の結果は毎回しっかりと伝えている。</li> </ul>		



**A-2-(3) 健康及び安全の実施体制**

A-2-(3)-① アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	アレルギー疾患、慢性疾患等を持つ子どもに対し、専門的な支持を受け、保護者と連携し、適切に対応している。	A
B	アレルギー疾患、慢性疾患等を持つ子どもに対し、専門的な支持を受け、保護者と連携し、適切に対応しているが、改善が必要である。	
C	アレルギー疾患、慢性疾患等を持つ子どもに対し、専門的な支持を受け、保護者と連携し、適切に対応していない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー児に対して、保護者と相談しながら対応している。(定期的な検査も行ってもらっている)</li> <li>・病院で処方された薬を塗り、快適に過ごせる様にしている</li> <li>・全職員でアレルギー児を把握している。</li> </ul>		

A-2-(3)-② 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	調理場、水周りなどの衛生管理のためのマニュアルがあり、常に清潔に保つなど適切に実施されている。	A
B	調理場、水周りなどの衛生管理のためのマニュアルがあり、常に清潔に保つなど適切に実施されず改善が必要である。	
C	調理場、水周りなどの衛生管理のためのマニュアルがなく、適切に実施されていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔に保たれている。</li> <li>・嘔吐時への対応セットを事前に用意している。</li> </ul>		

### A-3 保護者に対する支援

#### A-3-(1) 家庭との緊密な連携

##### A-3-(1)-① 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	食を通して、保護者が食育に関心が持てるような十分な取組をしている。	A
B	食を通して、保護者が食育に関心が持てるような具体的な取組をしているが、改善が必要である。	
C	食を通して、保護者が食育に関心が持てるような具体的な取組をしていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食メニューのレシピの提供や、試食会を行い関心を高めている。</li> <li>・食事の様子を伝え、家庭でも試してみたりと連携が出来ている。</li> </ul>		

##### A-3-(1)-② 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行なっている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換に加えて、別の機会を設けて相談に応じたり個別面談などを行っている。	A
B	送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換や、個別懇談は行っているが、改善が必要である。	
C	送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換や、個別懇談は行っていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接保護者との話をする場を大切にしている。</li> <li>・懇談を行い、くわしい様子を伝え合うことが出来ている。</li> <li>・連絡ノートも活用し、様子を伝えている。</li> </ul>		

A-3-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者の保育参加など、保護者と共通理解を得るための機会を十分設けている。	A
B	懇談会などの話し合いの場を設けているが、保護者と共通理解を得るためには改善が必要である。	
C	懇談会などの話し合いの場を設けているが、保護者と共通理解を得るための機会を設けていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育参観日を設けている。行事への見学参加を行っている。</li> <li>・ 3歳以上児は平日参観日で、普段の様子を見てもらっている。</li> </ul>		

A-3-(1)-④ 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に積極的に努めている。	A
B	虐待に対応できる保育所内の体制の下、虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努めているが、取組の改善が必要である。	
C	不適切な養育や虐待を疑われる子どもの早期発見や虐待の予防に努めていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの様子をしっかり見て、保護者と話す様になっている</li> <li>・ 職員間で取り組み方への話し合いをもっとする必要がある</li> <li>・ 職員全体で子どもの様子を見て、気になる様子が見られた場合は担任に伝えている</li> </ul>		

## A-4 苦情解決体制

A-4-(1)-① 保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	苦情解決受付責任者・苦情解決責任者・第三者委員を保護者に明示し、説明を行っている。また、懇談会・アンケート等で進んで要望や苦情を聞いている。	B
B	苦情解決受付責任者・苦情解決責任者・第三者委員を保護者に明示し、説明を行っている。また、懇談会・アンケート等で進んで要望や苦情を聞いているが改善が必要である	
C	苦情解決受付責任者・苦情解決責任者・第三者委員を保護者に明示し、説明を行っていないし、懇談会・アンケート等で進んで要望や苦情を聞いているいない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの実施はしていないが、話の中で聞き出ししたりしている。</li> <li>保護者に対する説明をもっとしては良いのでは。</li> </ul>		

A-4-(1)-② 要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	第三者委員を交えて対応する仕組みが出来ていて、要望・苦情の解決策が会議等を通じて職員に周知・理解されている。また、データを蓄積し、整理し、解決に生かしている。	A
B	第三者委員を交えて対応する仕組みが出来ていて、要望・苦情の解決策が会議等を通じて職員に周知・理解されているが取組に改善が必要である。	
C	第三者委員を交えて対応する仕組みがなく、要望・苦情の解決策が会議等を通じて職員に周知・理解されていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>要望や苦情などがあつた時は職員で話し合い、対応を迅速に保護者に伝え理解を得ている。</li> </ul>		

## A-5 安全管理

A-5-(1)-① 安全管理に対するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	安全管理に対するマニュアルが整備されていて、事故や災害に適切に対応しており、全職員に周知されている。	A
B	安全管理に対するマニュアルが整備されていて、事故や災害に適切に対応しており、全職員に周知されているが、取組が十分でなく改善が必要である。	
C	安全管理に対するマニュアルが整備されていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AED や消火器、さすまた等を置き、また避難訓練を行い、安全対策に取り組んでいる。</li> <li>・ チェックリストで安全点検をしている。改善点が無いか確認していく。</li> <li>・ 訪問の際、インターホンでの確認不足が気になるので改善していくと良い。</li> </ul>		

A-5-(1)-② 事故やけがの発生時及び事後の対応体制が確立している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	保護者や救急機関への連絡体制が確立していて、軽傷であっても必ず保護者へ状況を報告し記録している。また、職員会議等で事故の報告、再発防止などの改善策を話し合っている。	A
B	保護者や救急機関への連絡体制が確立していて、軽傷であっても必ず保護者へ状況を報告し記録しているが、取組が十分でなく改善が必要である。	
C	保護者や救急機関への連絡体制が確立されていないし、事故報告・再発防止の取組みがない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事故対応マニュアル等職員に配布し、確認している。</li> <li>・ けがをした時には保護者に連絡し、病院受診等をしてその後事故報告、再発防止について話し合いを行っている</li> </ul>		

## A-6 地域支援機能

### A-6 地域のニーズに応じた子育てサービスの提供

#### A-6-(1)-① 地域の子育て支援ニーズを把握するための取組を行う。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	地域住民との交流の中で、施設に対する要望を把握するために具体策を講じている。	C
B	地域住民との交流の中で、施設に対する要望を把握するために具体策を講じているが、取組が不十分で改善が必要である。	
C	地域住民との交流の中で、施設に対する要望を把握するために具体策を講じていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民との交流はあるが、具体策は講じていない。</li> </ul>		

#### A-6-(1)-② 地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	地域での子育てサービス（園開放、子育て相談、一時保育等）を提供し、地域の子育てニーズについて職員間で話合われている。	B
B	地域での子育てサービス（園開放、子育て相談、一時保育等）を提供し、地域の子育てニーズについて職員間で話合われているが十分ではなく改善が必要である。	
C	地域での子育てサービス（園開放、子育て相談、一時保育等）を提供していない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学に来ることはあるが、相談や一時保育は行っていない。</li> <li>・もっと職員間での話し合いが必要。</li> </ul>		

## A-7 ボランティア・実習の受入

### A-7-(1)-① ボランティアの受入や育成を積極的に行っている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	受入方針を利用者や職員に周知され、受入担当者が決められており記録が整備されている。また、ボランティアの感想意見を園運営に反映されている。	C
B	受入方針を利用者や職員に周知され、受入担当者が決められており記録が整備されているが、十分でなく改善が必要である。	
C	受入方針を利用者や職員に周知され、受入担当者が決められており記録が整備されていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な実習生の受け入れをしているが、ボランティアはいない。</li> </ul>		

### A-7-(1)-② 実習生の受け入れを適切に行っている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	受入のための担当者が決められており、実習目的に応じた効果的な実習が行われるよう工夫している。	A
B	受入のための担当者が決められており、実習目的に応じた効果的な実習が行われるよう工夫しているが十分でなく、改善が必要である。	
C	受入のための担当者が決められておらず、実習目的に応じた効果的な実習が行われるよう工夫がなされていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習生に担当者がつき指導している。</li> <li>・職員とのやりとりが少ない。</li> </ul>		

## A-8 職員の人材育成

### A-8-(1)-① 保育園職員としての人材育成のため取組を行っている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	保育園運営に必要な人材補充を行っており、研修等人材育成のための研修を行い、職員の資質向上のための方策がなされている。	A
B	保育園運営に必要な人材補充を行っており、研修等人材育成のための研修を行い、職員の資質向上のための方策がなされているが十分でなく、改善が必要である。	
C	保育園運営に必要な人材補充を行っており、研修等人材育成のための研修を行い、職員の資質向上のための方策がなされていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修などで資質向上の機会を作っている。</li> <li>・研修で学んだことを共有できる場を設けている。</li> </ul>		

### A-8-(1)-② 職員のスキルの段階に合わせて計画的に資質の向上に取り組んでいる。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	職員の自己評価や保育園の自己評価を計画的に行う仕組みを持ち、会議・勉強会を通じ工夫、改善に取り組んでいる。	A
B	職員の自己評価や保育園の自己評価を計画的に行う仕組みを持ち、会議・勉強会を通じ工夫、改善に取り組んでいるが十分でなく改善が必要である。	
C	職員の自己評価や保育園の自己評価を計画的に行う仕組みがない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議、勉強会の時間は十分である</li> <li>・自己評価をしっかり行って、保育の見直しを行っている。</li> </ul>		



A-8-(1)-③ 保育士等の自己評価を踏まえ、保育園の自己評価を行っている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	保育士等の自己評価を行い、その結果から保育園の自己評価を行っており、公表している。	B
B	保育士等の自己評価を行い、その結果から保育園の自己評価を行っているが十分でなく改善が必要である。	
C	保育士等の自己評価及び保育園の自己評価を行っていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価はしているが、公表はしていない。</li> <li>平成28年度分より、ホームページにて公表する予定。</li> </ul>		

A-9 施設長のリーダーシップ・主任の役割

A-9-(1)-① 保育園の理念や基本方針等について職員に周知されている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	理念・基本方針を明文化したものを掲示又は職員に配布し、理解を促すための説明を行っている。また、職員が理解できているか、園長・主任が確認（採用時・採用後年1回）	B
B	理念・基本方針を明文化したものを掲示又は職員に配布し、理解を促すための説明を行っているが十分でなく改善が必要である。	
C	理念・基本方針を職員に説明・理解させていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>目に入る場所に掲示はしているが、確認はしていない。</li> <li>理念・基本指針の説明をもっとすると良い。</li> </ul>		

A-9-(1)-② 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	重要な意思決定（変更）にあたり、園長は職員や保護者に目的・決定（変更）理由・経過等を十分に説明している。	A
B	重要な意思決定（変更）にあたり、園長は職員や保護者に目的・決定（変更）理由・経過等を説明しているが十分でなく改善が必要である。	
C	重要な意思決定（変更）にあたり、園長は職員や保護者に目的・決定（変更）理由・経過等を説明していない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間で話し合いを行い、保護者にも伝えられている。</li> </ul>		

A-9-(1)-③ 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしている。

判断基準		(A・B・C)
A	主任が個々の職員の業務状況を把握しており、能力や経験に合わせた確な助言や指導を行っている。	A
B	主任が個々の職員の業務状況を把握しており、能力や経験に合わせた確な助言や指導を行っているが十分でなく改善が必要である。	
C	主任が個々の職員の業務状況を把握しておらず、助言や指導を行っていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>職員への助言や指導をしっかりと行うと良い。</li> </ul>		

## A-10 効率的な運営

A-10-(1)-① 外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っている。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	事業運営に影響のある情報の収集・分析をし、重要な情報は幹部職員や主要な職員間で共有するとともに、重要な改善課題は職員に周知し園全体で取り組んでいる。	A
B	事業運営に影響のある情報の収集・分析をし、重要な情報は幹部職員や主要な職員間で共有するとともに、重要な改善課題は職員に周知し園全体で取り組んでいるが十分でなく改善が必要である。	
C	事業運営に影響のある情報の収集・分析をしていない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>職員会議や保育者間の話の中で共有している。</li> </ul>		

A-10-(1)-② 保育園運営に関して、中長期的な目標を設定している。

判断基準		評価 (A・B・C)
A	中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成し、次代の組織運営に備え運営やサービスプロセスなどを検討している。	B
B	中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成し、次代の組織運営に備え運営やサービスプロセスなどを検討しているが十分でなく改善が必要である。	
C	中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成していない。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度より、認定こども園に移行し、中期的計画を策定している。</li> </ul>		

	アピールポイント	課 題
A-1 保育所保育の基本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが安全に、保護者は安心して預けてもらえるよう努めている。</li> <li>・子どもひとりひとりの育ちを良く見て、職員間で共通理解し、適切に保育者が関わっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2歳児クラスの部屋が無いなど、十分な保育が行えなかった。</li> <li>・部屋や園全体での物の整理整頓を行い、環境を整える。</li> </ul>
A-2 子どもの生活と発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達に合わせた様々な遊具や玩具等を使用したり、異年齢との関わりを持ちながら、成長できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事が多く、ゆったりと過ごせる時間が少ないので、保育の中でゆったりと過ごせるようゆとりを作る。</li> <li>・障害児等への受け入れ対応。</li> </ul>
A-3 保護者に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時等保護者と積極的に交流を持ち、懇談などでも子どもの発達・成長を一緒に共有できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間が合わない保護者との交流が深められない。</li> <li>・子どもに対する乱暴な言葉や手が出る保護者に対する対応。</li> </ul>
A-4 苦情解決体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者から意見や要望を聞き、職員間で話し合いの元、対応がしっかりとできている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の意識の改善を進める。</li> <li>・保護者からの意見を聞ける機会が少ない。</li> </ul>
A-5 安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットや事故報告なども含め、安全に対しての話し合いが行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭の柵の高さ。</li> <li>・常に安全に過ごせることができるよう日々環境を見直す。</li> </ul>
A-6 地域支援機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事を通じて交流の場を設けたり、ホームページを使って情報を伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園開放などは職員全体が理解すべきである。</li> </ul>
A-7 ボランティア・実習の受入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習生の受け入れをしている。内容も十分である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習生に対しての関わりを持ち、保育者としてのアピールポイントを伝え、保育者育成をしっかりと行っていく。</li> <li>・ボランティアの参加が少ない。</li> </ul>
A-8 職員の人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに日常会話を行う中で、情報交換をしたり、相談しながら保育を行っている。</li> <li>・研修へ多く参加し、スキルアップに努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験が少ない職員にとってはわかりにくいことが多く、具体的な助言や指摘を行っていく。</li> <li>・研修は時期や目的で行きたいものに参加できると良い。</li> </ul>
A-9 施設長のリーダーシップ・主任の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親身に話す場を設け、職員1人ひとりを尊重している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育や決まりについては、統一感が必要なので細かく指摘してほしい。</li> </ul>
A-10 効率的な運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある程度、余裕を持った職員配置をしているため、効率はあまり良くないが、常勤職員が全園児を把握できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配置基準内で、効率よく運営できるように、職員のスキルアップを図る。</li> </ul>